NEC

Aterm® WL54AG-SD

PA-WL/54AG-SD1

ご使用になる前に

このたびは、『Aterm WL54AG-SD』をお選びいただきありがとうございます。ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

Wi Fi™
The Standard for Wireless Fidelity.

技術基準適合認定品

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

目次

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「ＮＥＣ・ＮＥＣアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合は、ご同意をいただけたものと致します。

NEC・NECアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・ NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「この CD-ROM について」(HTML ファイル) をよくお読みください。

① 無線 LAN カードの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
② WL54TE (ETHERNET ボックス) の無線 LAN のセキュリティ設定を行う「Ethernet ボックスマネージャ」(Windows® 版)
③ 無線 LAN カード用のドライバ一式 (Windows® 版)

CD-ROM の使い方

1. **パソコンを起動し、添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする**

2. **表示される画面に従ってクリックする**

(使用上のご注意)
Windows® XP/2000 Professional/Me でご使用の方

- 「この CD-ROM について」(HTML ファイル) が自動起動しない場合には、以下の操作を行います。
  ① Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
  ②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥index.html と入力し、[OK] をクリックする
  (例: CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥index.html)
  また、パソコンにより異なりますが、画面を自動起動しないようにするには、「SHIFT」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
  ① Windows® の [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
  ②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥util¥setup.exe と入力し、[OK] をクリックする
  (例: CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥util¥setup.exe)
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「この CD-ROM について」(HTML ファイル) を閉じた後に行ってください。
- Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、Ethernet ボックスマネージャのインストール、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● Windows® 動作環境

- **Windows® XP/2000 Professional/Me が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**
- **推奨環境**

  ハードディスクの空き容量： 30MB 以上を推奨
  Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
  メモリ 32MB 以上
  800 × 600High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたカラーモニタ

お知らせ

●表示画面
- サイズ ： 800 × 600 ピクセル以上
- 色 ： High-Color（24 ビット）以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●「この CD-ROM について」と「らくらく無線スタート」「サテライトマネージャ」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
- Windows® ： Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠警　告

こんなときには

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

⚠ 警　告

その他の注意事項

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

● 植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本商品をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。
電波により影響を受ける恐れがあります。

● 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

● ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など､不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

禁止事項

● 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

● 雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● 取扱説明書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

● 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。
社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

設置場所

- **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
  ・ほこりや振動が多い場所
  ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

- **電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)。**
  ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**

- **無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。**

- **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**

お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 動作中に外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。

無線LANに関する注意

- 最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11aの通信モードは、屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 ご使用にあたって

「Aterm WL54AG-SD」は、裏面のスライドスイッチを切り替えることで、次の２通りの機能をご利用になれます。

● 無線LAN端末（子機）
「WLAN」側に切り替えた場合は、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応している無線LANアクセスポイント（親機）に、離れたところからワイヤレスで通信できます。

● SDアダプタ
「SD」側に切り替えた場合は、SDアダプタとして利用することができます。対応しているSDカード等をSDカードスロットへ差し込んで使用します。

■ 無線LAN端末（子機）としてご利用の場合
Card Bus規格に準拠したPCカードスロット（TYPE Ⅱ）を搭載し、対応OSが搭載されているPC-AT互換機でご使用になれます。
なお、WL54AG-SDを利用できるのは通信相手のワイヤレス機器が、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応している場合です。対応していない機器との通信はできません。
また、WL54AG-SDを無線LAN端末（子機）としてご利用いただく場合の対応OSはWindows® XP/2000 Professional/Me（日本語版）のみです。

※無線LANアクセスポイント（親機）としてWR6600H、WR7800H、WR7600Hをご使用になる場合は、無線LANアクセスポイント（親機）に添付されているCD-ROM（ユーティリティ集）および取扱説明書をお使いください。
→その際、WL54AGをWL54AG-SDとして読み替えてください。

■ SDアダプタとしてご利用の場合
WL54AG-SDに装着して利用できるカードは、SDメモリーカード、マルチメディアカード、PHSデータ通信カードです。
※利用できるPHSデータ通信カードは、SII製PHSデータ通信カード（AH-S101S）のみです。
ご利用の際は専用のドライバのインストールが必要となります。（☛P54）
※利用できるSDメモリーカードとマルチメディアカードについては、「利用可能メモリーカード」（☛P58）をご参照ください。

お知らせ

●無線LAN端末（子機）としてご利用の場合、IEEE802.11aの通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b通信、IEEE802.11g通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。

●無線LAN通信とSDアダプタ機能は切り替えて使用します。同時に使うことはできません。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

- IEEE802.11a通信利用時は5.2GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
  2.4GHz帯使用のIEEE802.11b/Bluetooth機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OF-DM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

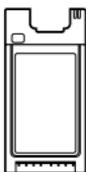
2.4　:2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS/OF :DS-SS方式及びOF-DM方式を示す
4　:想定される干渉距離が40m以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

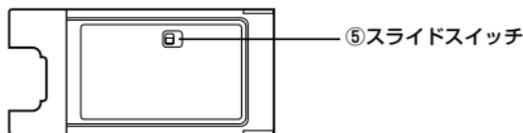
2　セットを確認する

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途添付のお問い合わせ先にご連絡ください。

●構成品

3 各部の名前とはたらき

WL54AG-SD

【表面】

【裏面】

① PWR ランプ／ ACT ランプ

機能	ランプのつきかた	WL54AG-SD の状態
無線 LAN 機能	2 つ同時に緑点滅	通信中 （通信量により点滅速度が変化する）
	2 つ同時に遅く緑点滅	通信待機中 （通信可能状態であるが、データ送受信が行われていない）
	交互に遅く緑点滅	無線 LAN アクセスポイント（親機）をサーチ中 （無線接続が確立されていない）※
	PWR ランプのみ緑点滅 （ACT ランプ消灯）	電源 OFF （無線接続 OFF 設定時、またはドライバ無効の状態）
SD アダプタ機能	PWR ランプ橙点灯	• SD メモリーカードまたはマルチメディアカードの場合 WL54AG-SD を PC カードスロットに挿入している • SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）の場合 WL54AG-SD を PC カードスロットに挿入し、パソコンでダイヤルアップを開始またはターミナルソフトで PHS データ通信カードを起動している
	ACT ランプ緑点滅	•SD メモリーカードまたはマルチメディアカードの場合 データ送受信中 •SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）の場合 通信中

※無線接続が確立していない場合は、「5　WL54AG-SD を無線 LAN 端末（子機）として使用する」（☛P20）を参照して無線接続を確立してください。

②SD カードスロット
SD アダプタとして利用する場合、SD メモリーカード、マルチメディアカード、SII 製 PHS データ通信カードを差し込みます。

③PC カードコネクタ
パソコンの PC カードスロットに差し込み接続します。

④外部アンテナコネクタ
別売りのワイヤレス外部アンテナ（WL54AG/WL54AG-SD 用）（PA-WL/ANT3）を接続するときに使用します。使用するときは、キャップを外してください。

⑤スライドスイッチ
無線 LAN 端末（子機）として利用する場合は「WLAN」側に、SD アダプタとして利用する場合は「SD」側にスイッチをスライドさせます。

お願い

●無線LAN通信とSDアダプタ機能は切り替えて使用します。同時に使うことはできません。
●WL54AG-SD（無線LANカード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernetポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。
●無線LAN端末（子機）としてご利用の場合、IEEE802.11aの通信とIEEE802.11g+IEEE802.11b、IEEE802.11g通信は、切り替えて使用します。混在しての使用はできません。
●PCカードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

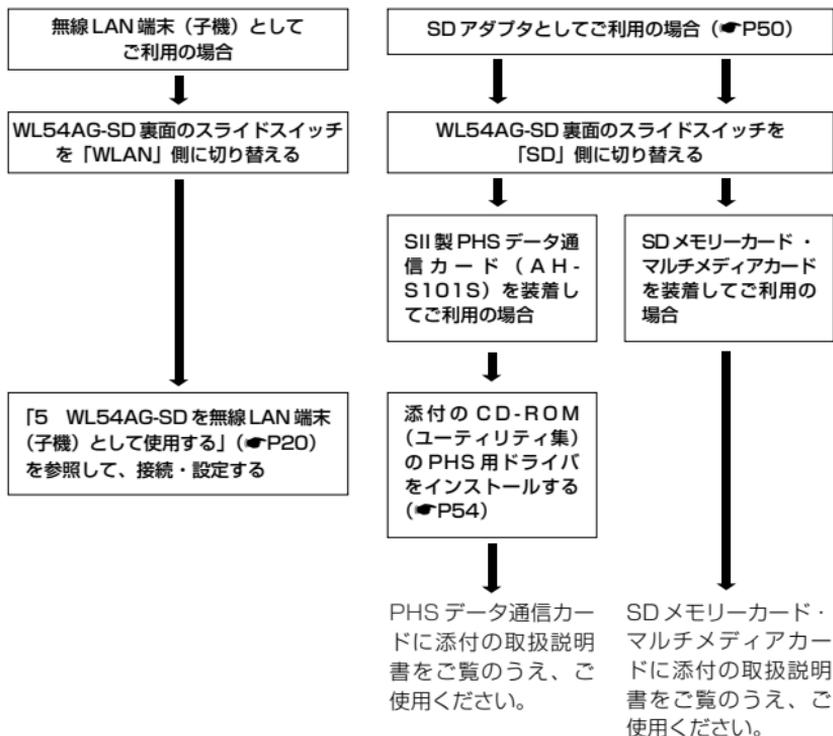
お知らせ

●WL54AG-SDを無線LANカードとしてご利用の場合は、無線LAN端末（子機）としてご利用ください。（無線LANアクセスポイント（親機）の拡張カードスロットへは装着できません。）

4　*WL54AG-SD のご利用について*

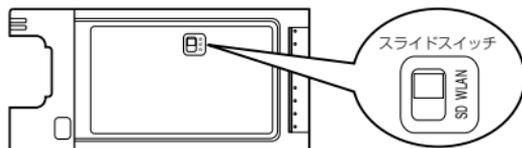
WL54AG-SD は、裏面のスライドスイッチを切り替えることで、無線 LAN 端末（子機）または SD アダプタとしてご利用になれます。

無線 LAN 端末（子機）としてご利用の場合は、「5　WL54AG-SD を無線 LAN 端末（子機）として使用する」（☛P20）を参照して、無線 LAN アクセスポイント（親機）への接続・設定を行ってください。

SD アダプタとしてご利用の場合は、「7　WL54AG-SD を SD アダプタとして使用する」（☛P50）を参照して SD カード等を装着し、パソコンに取り付けます。
装着する SD カード等（SD メモリーカード・マルチメディアカード等）の取扱説明書をご覧のうえ、ご使用ください。
なお、SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）を装着するときは、PHS 用ドライバのインストールが必要となります。（☛P54）

5 WL54AG-SD を無線 LAN 端末（子機）として使用する

WL54AG-SD を無線 LAN 端末（子機）としてご利用の場合の接続と設定について説明します。

はじめに、WL54AG-SD の裏面のスライドスイッチが「WLAN」側になっていることを確認してください。

【WL54AG-SD 裏面】

※「WL54AG-SD」は、裏面のスライドスイッチを「WLAN」側に切り替えていただくことで、「WL54AG」と同様の機能でご利用いただけます。

※SD アダプタでご利用の場合は、「7　WL54AG-SD を SD アダプタとして使用する」（☛P50）をご覧ください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するには

WL54AG-SD を無線 LAN 端末（子機）として無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するには、次の手順で行います。ご利用の環境に合わせて接続設定を行ってください。

①パソコンとの接続（ドライバのインストール）
- **サテライトマネージャでインストールする場合（☛P22）**
- **ドライバの手動インストール（☛P26）**

②設定する
- **らくらく無線スタートで設定する（☛P30）**
- **サテライトマネージャで設定する（Windows® XP/2000 Professional/Me の場合）（☛P33）**
- **ワイヤレスネットワークの設定（Windows® XP の場合）（☛P42）**

※無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては「らくらく無線スタート」で設定することができます。ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」などを参照してください。

WL54AG-SD を無線 LAN 端末（子機）としてご利用になれる OS は、Windows® XP/2000 Professional/Me のみです。Macintosh ではご利用になれません。
WL54AG-SD は、Card Bus 規格に準拠した PC カードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

お願い

- ●WL54AG-SD はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- ●ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと WL54AG-SD のドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。
- ●無線 LAN 内蔵パソコンに WL54AG-SD（無線 LAN カード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線 LAN の［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
- ●WL54AG-SD と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
- ●ご使用の環境によっては通信速度が劣化することがあります。その場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたり、位置を変える事で改善できる場合があります。

パソコンとの接続（サテライトマネージャでドライバをインストールする）

サテライトマネージャをインストールする

WL54AG-SD を設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」をパソコンにインストールします。

1 **Windows® XP/2000 Professional/Me を起動する**
Windows® XP/2000 Professional の場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする**
「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が表示されます。

「この CD-ROM について」が表示されないときは（☛P5）

3 **内容を確認して ☒ または［閉じる］をクリックする**

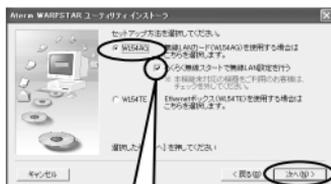
4 **「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面で［次へ］をクリックする**

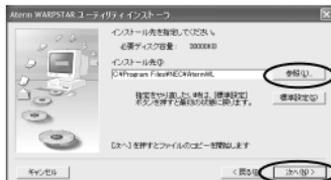
「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面が表示されないときは（☛P5）

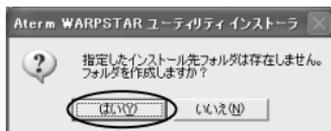
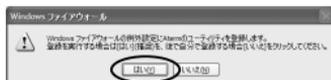
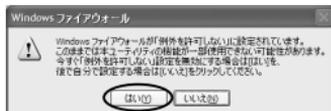
5 **［次へ］をクリックする**

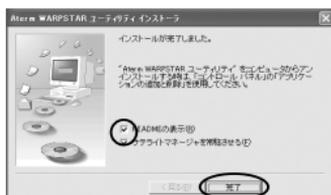
6 **画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする**

7 ［WL54AG］を選択し、無線 LAN アクセスポイント（親機）の「らくらく無線スタート」対応／非対応により※［らくらく無線スタートで無線 LAN 設定を行う］のチェックを選択して、［次へ］をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の「らくらく無線スタート」の対応／非対応については、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付されている「つなぎかたガイド」等で確認してください。

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

インストールが開始されます。

10 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

11 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

12 ［README の表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

サテライトマネージャがインストールされました。

（次ページに続く）

13 README をよく読み、[README] 画面を閉じる

インストールが完了し、らくらく無線スタートまたはサテライトマネージャが起動します。

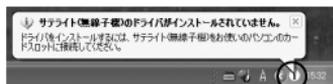
14 「この CD-ROM について」を閉じる

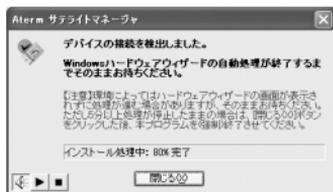
「ドライバをインストールする」(☛ 下記) に進みます。

お知らせ

●サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。(☛P42)

ドライバをインストールする

1 通知領域 (タスクトレイ) にサテライトマネージャが表示されることを確認する

2 WL54AG-SD (無線 LAN カード) をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。

「6　無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」（☛P30）に進みます。

「サテライトマネージャをインストールする」の手順 7（☛P23）での選択によって表示される画面が異なります。

無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応している場合

→「らくらく無線スタートで設定する」（☛P30）

無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応していない場合

→「サテライトマネージャで設定する」（☛P33）

! ドライバをアンインストール（削除）するには

WL54AG-SD のドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンを WL54AG-SD のドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL54AG-SD のドライバをアンインストールします。

※Aterm WARPSTAR ユーティリティがインストールされている必要があります。インストール方法については「サテライトマネージャをインストールする」（☛P22）を参照してください。

① [スタート] − [すべてのプログラム] − [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] − [ドライバのアンインストール] をクリックする

② 画面の指示が出たら、タスクバーのカードアイコンをクリックして、"NEC Aterm WL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter を安全に取り外します" をクリックする

③ 取り外し可能のメッセージが表示されたら [OK]（Windows® XP の場合は ✕）をクリックする

④ WL54AG-SD（無線 LAN カード）を取り外す

⑤ [OK] をクリックする

⑥ アンインストールするドライバを選択し、[実行] をクリックする

⑦ 画面の指示に従ってアンインストールを行う

パソコンとの接続（ドライバを手動でインストールする）

WL54AG-SD のドライバを手動でインストールして設定を行う場合は、次の手順で設定を行ってください。ここでは Windows® XP を例に説明します。Windows® 2000 Professional/Me ではドライバが収録されている CD-ROM のフォルダが異なりますので手順 8 に注意してください。

1 **Windows® XP を起動する**

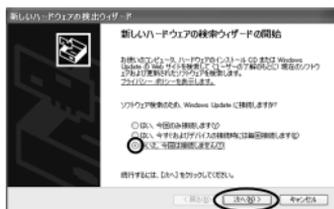
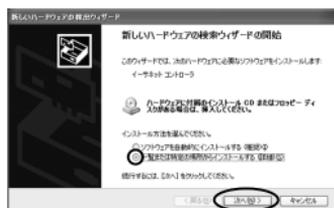
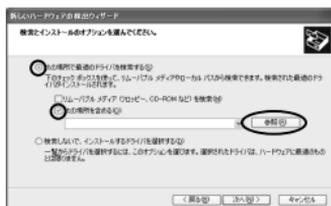
2 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする**

しばらくすると「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が表示されるので、画面を閉じてから手順 3 に進みます。また「この CD-ROM について」（HTML ファイル）が表示されない場合も、手順 3 に進みます。

3 **[Aterm WARPSTAR ユーティリティ] 画面で [キャンセル] をクリックする**

4 **パソコンに WL54AG-SD を取り付ける**

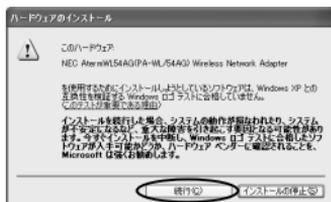
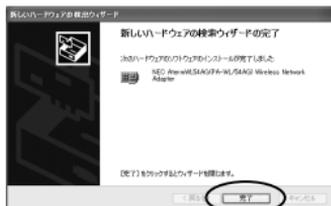
WL54AG-SD 裏面のスライドスイッチが「WLAN」側になっていることを確認し、コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

5 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で［ソフトウェア検索のため Windows Update に接続しますか？］の画面が表示された場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックしてください。**

6 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示された場合には、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックする**

7　［次の場所で最適のドライバを検索する］と［次の場所を含める］にチェックし、［参照］をクリックする

8　CD-ROMドライブから［Drv］－［WinXP］を選択し、［OK］をクリックする

Windows® Meの場合、［Drv］－［WinMe］を選択します。
Windows® 2000 Professionalの場合、［Drv］－［Win2000］を選択します。

9　［次へ］をクリックする

(この画面は、CD-ROMドライブ名がEの場合です)

10　次の画面が表示されたときは［続行］をクリックする

11　インストールが完了したら、［完了］をクリックする

12　CD-ROMを取り出す

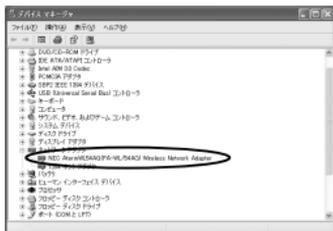
（次ページに続く）

13 WL54AG-SD ドライバのインストールを確認する

①［スタート］－［マイコンピュータ］－［システム情報を表示する］をクリックする

②「ハードウェア］タブをクリックする
③［デバイスマネージャ］をクリックする

※画面は、Windows® XP（Service Pack2）の場合の例です。
Windows® のアップデート状況によって［デバイスマネージャ］ボタンの場所が異なります。

④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する

こんなときは

手順13で［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］の頭に黄色い①が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。
手順13で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。
［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］以外のネットワークアダプタは、［操作］－［プロパティ］をクリックして「全般］タブの［デバイスの使用状況］で［このデバイスを使わない（無効)］をチェックして無効にしてください。

WL54AG-SDの取り扱いについて

■取り付けるとき

・WL54AG-SDのコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

■取り外すとき

・WL54AG-SDを取り外すときは、以下の操作でPCカードを取り外せる状態にしてから取り外してください。

①タスクトレイのPCカードアイコンをクリックする
②[NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapterの停止］をクリックする（Windows® XPの場合は［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapterを安全に取り外します］をクリックする）
③「'NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter' は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックする（Windows® XPの場合は ✕ をクリックして画面を閉じる）
④WL54AG-SDを取り外す

6 無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定を行います。

無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては「らくらく無線スタート」で設定することができます。ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の「つなぎかたガイド」などを参照してください。

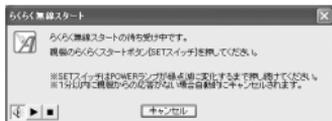
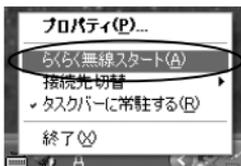
無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応している場合
　→らくらく無線スタートで設定する（☛ 下記）

無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応していない場合
　→サテライトマネージャで設定する（☛P33）

らくらく無線スタートで設定する

1 **次の画面が表示されることを確認する**

※1 分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

!

らくらく無線スタートが起動しない場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［らくらく無線スタート］をクリックします。

2 無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を前面のPOWERランプが緑点滅になるまで押す

※装置図は一例です。　※装置図は一例です。

!

らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

3 らくらくスタートの準備ができているか確認する

WL54AG-SD（無線LANカード）を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。

らくらく無線スタート

らくらく無線スタートの接続中です。

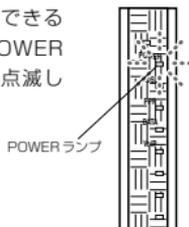
無線LAN設定の登録のために親機のらくらくスタートボタン[SETスイッチ]を押してください。

※SETスイッチはPOWERランプが橙点灯に変化するまで押し続けてください。
※30秒以内に親機からの応答がない場合自動的にキャンセルされます。

キャンセル

無線LANアクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面のPOWERランプが橙点滅します。

POWERランプ

※装置図は一例です。

!

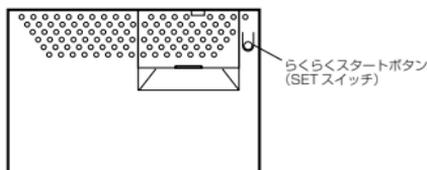
どちらか片方だけが上記の状態になっている場合は

他の無線LANアクセスポイント（親機）または無線LAN端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。
WL54AG-SD（無線LANカード）を接続したパソコンで［キャンセル］をクリックし、無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順1から設定をやり直してください。

どちらも上記の状態にならない場合は

「らくらく無線スタート」がご利用になれません。その場合は、サテライトマネージャで無線設定を行います。サテライトマネージャでの設定のしかたについては、「サテライトマネージャで設定する」（☛P33）を参照してください。

（次ページに続く）

4 無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を手順5の前面のPOWERランプが橙点灯状態になるまで押す

※装置図は一例です。

> **!**
> らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

5 無線設定が完了していることを確認する

WL54AG-SD（無線LANカード）を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。

無線LANアクセスポイント（親機）

前面のPOWERランプが約10秒間橙点灯することを確認します。

※装置図は一例です。

> **!**
> 失敗した場合は、POWERランプが約10秒間赤点灯します。手順1の (!) から設定をやり直してください。

(!) *らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意*

- 無線LANアクセスポイント（親機）側に暗号化設定がされていない場合は、らくらく無線スタートでの設定はできません。
- パスワードや他の暗号化モードが設定されている場合は、らくらく無線スタートで設定できない場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）側で「MACアドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線LAN端末（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタートでの無線設定登録のときに、MACアドレスフィルタリングにも新たに登録されます。ただし、MACアドレスフィルタリングのエントリーが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートは失敗になります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）側で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。

サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WL54AG-SDの無線の通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線LANの設定をすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも暗号化の設定を行うことをお勧めします。
Windows® XPの場合は、Windows® XPに内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。（☛P42）ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、暗号化モードは、暗号化無効またはWEP（64bit、128bit）のみご利用いただけます。WEP（152bit）やTKIP、AES、ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）はご利用になれません。
無線LAN端末（子機）間通信（アドホックモード）でお使いになる場合は、WARPSTAR無線LANアクセスポイント（親機）に添付されているCD-ROM、またはホームページに公開されている「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）を参照してください。

サテライトマネージャで設定する

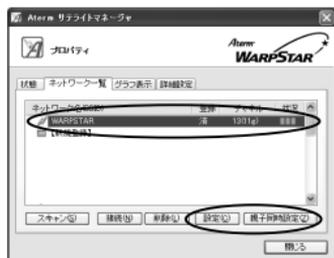
1 **次の画面が表示されることを確認する**

サテライトマネージャが表示されない場合は
①[スタート] －［プログラム］－［AtermWARPSTARユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックしてサテライトマネージャを起動する
②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する
③[ネットワーク一覧］タブをクリックする

（次ページに続く）

2 接続先のネットワーク名をクリックして、[設定] または [親子同時設定] をクリックする

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。
ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。
新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。

※無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合は [親子同時設定] を、無線LAN端末（子機）のみ設定する場合は [設定] をクリックします。

無線LANアクセスポイント（親機）によっては [親子同時設定] が選択できない場合があります。その場合は [設定] をクリックしてください。

3 無線LANの設定を行う

■無線LANアクセスポイント（親機）も同時に設定する場合

手順2で[親子同時設定]をクリックした場合は次のように設定します。

[ネットワーク名]

使用するネットワークの名称を入力します。手順2で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[無線動作モード]

ネットワーク内で使用する無線モードを選択します。

[チャネル番号]

無線LANアクセスポイント（親機）と通信するチャネルを選択します。

[暗号化モード]

●暗号化モードでWEPを使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する

②暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。

③暗号化キーを入力する
暗号化キーは半角で入力します。
英数字は0～9、a～z、A～Zで構成されている文字列を指定できます。
16進は0～9、a～f、A～Fで構成されている文字列を指定できます。

●暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

②無線LANアクセスポイント（親機）に設定した暗号化キーを入力する
暗号化キーは、8～63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。
暗号化キーは半角で入力します。

無線モードの選び方

802.11a ‥‥電波が届く範囲であれば他の無線モードより高速な通信が可能です。

802.11g ‥‥802.11aよりも広い範囲で高速な通信を行うことができます。

802.11g+b‥802.11bにしか対応していない無線LAN端末（子機）との混在環境での利用に適しています。

無線LANアクセスポイント（親機）の機種によっては暗号化キーの欄にキーが表示されます。設定を変更する場合は、表示されたキーを消去して、入力してください。なお自動的に表示されるキーは、無線LANアクセスポイント（親機）底面の「無線LAN設定ラベル」に記載されているキーと同じですのでそのまま使用することができます。

（次ページに続く）

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

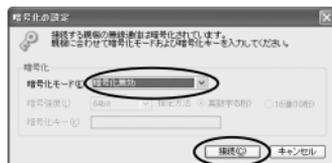
・8～63 桁の場合
英数記号
【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>"</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>'</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64 桁の場合
16 進数【0～9、a～f、A～F】

!

接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は、次の画面が表示されます。無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて暗号化の設定を行い、［接続］をクリックしてください。

■無線 LAN 端末（子機）のみ設定する場合

手順 2 で「設定」をクリックした場合は、使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）にあわせて次のように設定します。
暗号化の設定を行う場合は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

[ネットワーク名]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名を入力します。手順 2 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[通信モード]

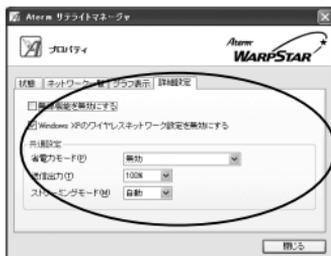
インフラストラクチャ通信を選択します。

[暗号化モード]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号化強度」や「暗号化キー」などを入力します。

4 ［登録］をクリックする

お知らせ

●［詳細設定］タブをクリックすると、［詳細設定］で次の設定が行えます。

・**省電力モード**
ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・**送信出力**
他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・**ストリーミングモード**
無線通信状態を監視するために無線 LAN 端末（子機）が行っている、無線 LAN ネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

お願い

●同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線 LAN アクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］のチャネル表示が［状態］の表示と異なる場合があります。［状態］表示の値を参照してください。

●2 台目以降の無線 LAN 端末（子機）を追加する場合は、1 台目と同じ暗号化キーを入力してください。

●無線 LAN アクセスポイント（親機）で「WPA-TKIP モード」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続されます。

サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

[プロパティ]：
通信モードの設定、暗号化の設定をすることができます。
[状態] タブで無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を詳細に確認することができます。
無線の通信状態が「普通」または「強い」になることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

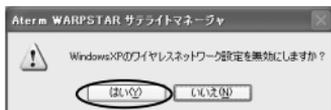
[らくらく無線スタート]：
インストール時に「らくらく無線スタートで無線 LAN の設定を行う」にチェックした場合のみ表示されます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）とのネットワーク名や暗号化設定を簡単に行うことができます。
認定方法については、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付のつなぎかたガイド等を参照してください。

[接続先切替]：
サテライトマネージャで設定した接続先（無線 LAN アクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

[タスクバーに常駐する]：
[タスクバーに常駐する] にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[終了]：
サテライトマネージャを終了します。

Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには

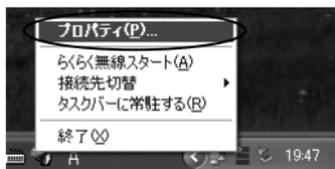
Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定でいったん設定を行ってからサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。
①サテライトマネージャを起動する
②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③次の画面が表示されるので［はい］をクリックする

以上の設定を行うと、Windows® XPでサテライトマネージャが使用できるようになります。P33からのサテライトマネージャでの無線LANアクセスポイント（親機）の登録設定、暗号化設定を行ってください。

サテライトマネージャを起動するには

サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときは、［スタート］をクリックし、［プログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックします。

サテライトマネージャで無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態を確認することができます。

1 **通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

無線LAN端末（子機）が正しく接続されていません。

無線LANアクセスポイント（親機）が正しく検出できています。

無線LANアクセスポイント（親機）がみつかりません。

●無線LANアクセスポイント（親機）との電波の状態は次のとおりです。

青3本	青2本	黄2本	赤1本
強い	普通	弱い	限界

2 **［状態］タブをクリックする**

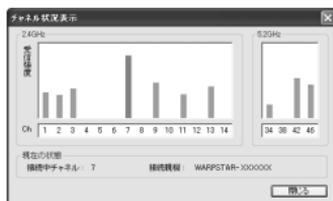
無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態が表示されます。

3 **通信状態を確認し、［閉じる］をクリックする**

無線の通信状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】
通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。

【状態】－【チャネル状況】
近くの無線LANアクセスポイント（親機）が、どのチャネルで使われているかを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。空いているチャネルをチェックして切り替えることができます。
現在接続中のチャネルは赤で表示されます。

ワイヤレスネットワークの設定（Windows® XP の場合）

Windows® XP の場合は、Windows® XP に内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で設定できます。
ただし、「ワイヤレスネットワークの設定」では、WEP（152bit）、TKIP、AES、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）は、ご利用になれません。暗号化無効または WEP（64bit、128bit）のみご利用いただけます。通常は Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にして、サテライトマネージャで設定してください。

※あらかじめパソコンに WL54AG-SD のドライバがインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、サテライトマネージャ（☛P22）または手動で（☛P26）ドライバをインストールしてください。

! らくらく無線スタートで設定を行った場合

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。

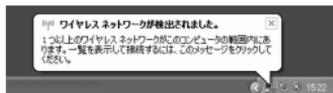
①サテライトマネージャを起動する
②通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

⑤「はい」をクリックする
⑥「閉じる」をクリックする

●暗号化設定されていない無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合（☛P43）

●暗号化設定されている無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合（☛P45）

無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される

※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

Windows® XP Service Pack 1適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

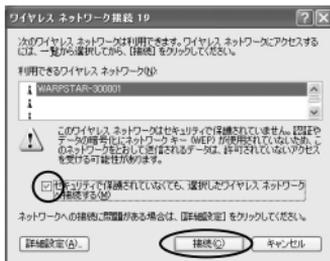
3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。
ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

・[利用できるネットワーク］に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。

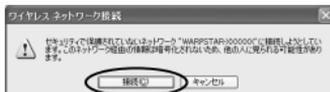
（次ページに続く）

お願い

●次の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて［接続］をクリックしてください。

※画面はWindows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

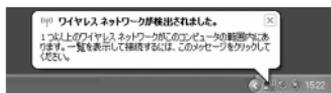
4 ［接続］をクリックする

5 次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする

6 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

暗号化を設定して無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されているとき）

以下の設定はWindows® XPのワイヤレスネットワークを使用して64bitWEP/128bitWEPをご利用になる場合の説明です。無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEP、TKIP、AESが設定されている場合、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定を停止してサテライトマネージャで設定を行う必要があります。（☛P33）

※暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される

2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

Windows® XP Service Pack 1適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名を選択する

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある「無線LAN設定ラベル」に記載されています。
ただし、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に「無線LAN設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXXは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

・使用する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れ直し、手順1からやり直してください。

※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。
Windows®のアップデート状況により画面が異なります。

（次ページに続く）

お願い

●［このネットワークでIEEE802.1xを有効にする］の☑ は必ず外してください。

※画面はWindows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

4 Windows® XP Service Pack2の場合は［接続］をクリックする

Windows® XP Service Pack2適用前の場合は、そのまま手順5へ進みます。

5 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が1番の場合、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする

※キー番号に2番～4番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は手順6に進みます。

6 ［詳細設定の変更］をクリックする

Windows® XP Service Pack 2適用前の場合は、［詳細設定］をクリックします。

7 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名をクリックし、［プロパティ］をクリックする

接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名が［優先ネットワーク］（Windows® XP Service Pack2適用前の場合は［優先するネットワーク］）欄に表示されていない場合は、［追加］をクリックします。

8 表示される画面にあわせて暗号化の設定を行う

■ Windows® XP Service Pack2 の場合

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する

②[データの暗号化]で[WEP]を選択する

③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII 文字/16 進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

- ASCII 文字の場合：英数字5文字、または 13 文字で指定（13 文字は無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合のみ）
- 16 進数の場合： 0～9 ・ A～F で 10 文字、または 26 文字で指定（26 文字は無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合のみ）

⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のままご利用ください。

⑥[OK]をクリックする

■ Windows® XP Service Pack1 の場合

※画面は Windows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

①[データの暗号化]にチェックする

（画面に［ネットワークアソシエーション］・［データの暗号化］の項目が表示されている場合は、それぞれ［開いています］・［WEP］を選択する）

②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII 文字/16 進数の別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

- ASCII 文字の場合：英数字5文字、または 13 文字で指定（13 文字は無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合のみ）
- 16 進数の場合： 0～9 ・ A～F で 10 文字、または 26 文字で指定（26 文字は無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合のみ）

④無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のままご利用ください。

⑤[OK]をクリックする

（次ページに続く）

■Windows® XP Service Pack1 適用前の場合

①[データの暗号化]にチェックする

②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

③[ネットワークキー]は、無線LANアクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：

無線LANアクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。

無線LANアクセスポイント（親機）で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：

無線LANアクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bitを選択してください。

無線LANアクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bitを選択してください。

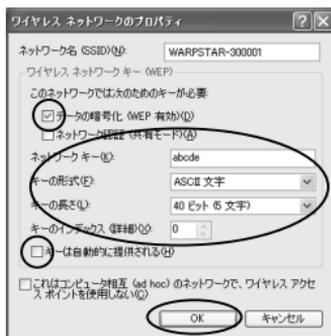
キーのインデックス：

特に使いません。

0～3がありますが、0のままご使用ください。

（1～3に別の暗号化キーを登録しておき、[キーのインデックス]を切り替えて、別の暗号化キーを使うことができます。）

※無線LANアクセスポイント（親機）側は、クイック設定Webの［無線LAN側設定］－［暗号化（WEP)］で使用する暗号化キーを確認してください。

④[OK]をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

1 **パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする**

2 **［状態］をクリックし、［全般］タブで確認する**

3 **無線設定が正しく行われていることを確認する**

・［状態］は「接続」になっていること
・［速度］が表示されていること
（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。SuperAG 機能を利用している場合は、108Mbps と表示されます。）

※画面は Windows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

7 WL54AG-SDをSDアダプタとして使用する

WL54AG-SDは、裏面のスライドスイッチを「SD」側に切り替えることで、SDアダプタとして使用することができます。PCカードスロットを持つ機器と、SDカード等との間で、データの読み出し・書き込みなどのデータ転送が行えます。

ここではSDカード等の装着とパソコンへの取り付け、取り外しかたについて説明しています。

装着するSDカード等の取り扱い、ご利用方法につきましては、SDカード等の取扱説明書を参照してください。

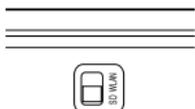
● WL54AG-SDに装着できるSDカード
- SDメモリーカード（☛P58「利用可能メモリーカード」参照）
- miniSDメモリーカード（☛P58「利用可能メモリーカード」参照）
  →専用のアダプタが必要です。
- マルチメディアカード（☛P58「利用可能メモリーカード」参照）
- SII製PHSデータ通信カード（AH-S101S）
  →はじめてSII製PHSデータ通信カード（AH-S101S）をWL54AG-SDに装着して使用する場合は、PHS用ドライバのインストールが必要となります。「PHS用ドライバをインストールする」（☛P54）を参照してインストールを行ってから、ご使用ください。

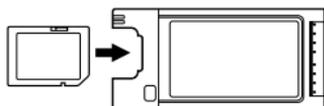
なお、WL54AG-SDをSDアダプタとしてご利用になれるOSは、Windows® XP/2000 Professional/Meのみです。Macintoshではご利用になれません。

パソコンへの取り付けかた

WL54AG-SD を SD アダプタとして使用する際は、次の手順でパソコンに取り付けます。

はじめて SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）を WL54AG-SD に装着して使用する場合は、PHS 用ドライバのインストールが必要となります。「PHS 用ドライバをインストールする」（☛P54）をご参照ください。

1 WL54AG-SD 裏面のスライドスイッチを「SD」側にする

2 SD カード等を WL54AG-SD カードスロットへ挿入する

※SD カード等はしっかり挿入してください。挿入が不完全では正常に認識されません。

3 WL54AG-SD をパソコンの PC カードスロットに挿入する

※必ず SD カード等を先に WL54AG-SD に挿入してからパソコンへ挿入してください。

パソコンへ挿入する際は、WL54AG-SD 本体を押して挿入してください。SD カード部分を押して挿入すると故障の原因となります。

4 WL54AG-SD の PWR ランプが橙点灯することを確認する

※PHS データ通信カードを WL54AG-SD に装着している場合は、この時点では橙点灯はしません。

お知らせ

●Windows® Me のパソコンではじめて SD メモリーカードをお使いの場合、最初に差し込んだときに新規デバイスのウィザードが立ち上がります。その際は「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して［次へ］をクリックし、インストールが完了したら［完了］をクリックしてください。
●miniSD メモリーカードを使用する場合は、必ず miniSD メモリーカード専用のアダプタに差し込んでから WL54AG-SD に装着してください。
●データ送受信中には、WL54AG-SD や SD カード等を取り出さないでください。故障やデータの破損、消滅の原因となります。

パソコンからの取り外しかた

パソコンから WL54AG-SD を取り外すときは、以下の操作を行って、取り外せる状態にしてから取り外してください。

1. **タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする**

2. **パソコンの OS や SD カード等によって、下記のいずれかが表示されるので、クリックする**
   - SD メモリーカードまたはマルチメディアカードの場合
     [標準 IDE/ESDI ハードディスクコントローラの停止]
     [PCMCIA IDE/ATAPI コントローラーを安全に取り外します]
   - SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）の場合
     [AtermWL54AG-SDPHS の停止]
     [AtermWL54AG-SDPHS を安全に取り外します]

3. **取り外し可能のメッセージが表示されたら［OK］をクリックする**
   （Windows® XP の場合は ☒ をクリックして画面を閉じる）

4. **WL54AG-SD をパソコンの PC カードスロットから取り外す**

5. **SD カードスロットから SD カード等を取り外す**

PHS用ドライバをインストールする
（SII製PHSデータ通信カード（AH-S101S）をご利用の場合）

はじめてSII製PHSデータ通信カード（AH-S101S）をWL54AG-SDに装着して使用する場合は、専用のPHS用ドライバのインストールが必要です。
WL54AG-SDをパソコンに取り付ける前に、次の手順でPHS用ドライバのインストールを行ってください。

●インストールには、WL54AG-SDに添付のCD-ROM（ユーティリティ集）を使用します。SII製PHSデータ通信カード（AH-S101S）に添付されているCD-ROMは使用しないでください。

1. **Windows® XP/2000 Professional/Meを起動する**

   Windows® XP/2000 Professionalの場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2. **WL54AG-SDに添付のCD-ROM（ユーティリティ集）をCD-ROMドライブにセットする**

   「このCD-ROMについて」（HTMLファイル）が表示されます。

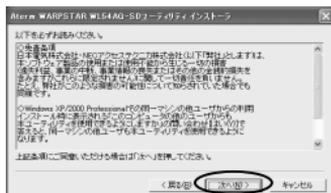
   「このCD-ROMについて」が表示されないときは（☛P5）

3. **「このCD-ROMについて」の内容を確認して「PHSドライバのインストールについて」の［PHSドライバのセットアップを開始する］をクリックする**

4. **［SetupPHS.exe］をダブルクリックする**

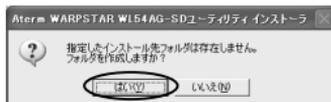
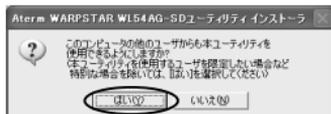
5. **［次へ］をクリックする**

6 ［次へ］をクリックする

7 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

8 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

インストールが開始されます。

10 ［はい］をクリックする

11 ［README の表示］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

PHS 用ドライバインストーラがインストールされました。

12 README をよく読み、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、PHS 用ドライバインストーラが起動します。

（次ページに続く）

13 「この CD-ROM について」を閉じる

14 次の画面が表示されたら WL54AG-SD をパソコンに取り付ける

①WL54AG-SD の裏面のスライドスイッチが「SD」側になっていることを確認して、PHS データ通信カードを SD カードスロットへしっかり挿入してください。

②パソコンのカードスロットに WL54AG-SD を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

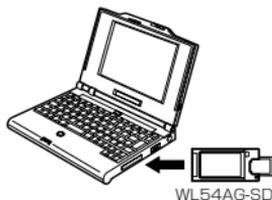
WL54AG-SD

パソコンへ挿入する際は、WL54AG-SD 本体を押して挿入してください。SD カード部分を押して挿入すると故障の原因となります。

③自動的にドライバのインストールが開始されます。
ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、次の項目の画面が表示されるまで操作しないでください。

取り外しかた（☛P53）

PHS 用ドライバをアンインストールするには（☛P57）

15 ［終了］をクリックする

PHS 用ドライバをアンインストールするには

WL54AG-SD の PHS 用ドライバを正常にインストールできなかった場合や WL54AG-SD の PHS 用ドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL54AG-SD の PHS 用ドライバをアンインストールします。

① タスクトレイのカードアイコンをクリックして、"AtermWL54AG-SDPHS を安全に取り外します"をクリックする
② 取り外し可能のメッセージが表示されたら［OK］（Windows® XP の場合は ☒）をクリックする
③ WL54AG-SD を取り外す
④ ［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR WL54AG-SD ユーティリティ］－［ドライバアンインストーラ］をクリックする
⑤ ［はい］をクリックする
⑥ ［OK］をクリックする

お知らせ

●SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）でインターネットに接続する場合は、ダイヤルアップ接続します。ダイヤルアップ接続設定については、SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）の取扱説明書を参照してください。
なお、設定の際は、［モデムの選択］を［AtermWL54AG-SDPHS］にしてください。

利用可能メモリーカード

WL54AG-SD では、以下のメモリーカードがご利用になれます。（2004 年 11 月現在）

・8/16/32/64/128/256/512MB/1GB の SD メモリーカード
・8/16/32/64MB のマルチメディアカード

推奨 SD メモリーカード

WL54AG-SD で利用できる SD メモリーカードとして、下記のハギワラシスコム製 SD メモリーカード、miniSD メモリーカードを推奨しております。

SD メモリーカード

（2004 年 11 月現在）

	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB
T-Pro シリーズ	—	—	—	HPC-SD 128TP	HPC-SD 256TP	—	—
T シリーズ	—	HPC-SD 32T	HPC-SD 64T	HPC-SD 128T	HPC-SD 256T	HPC-SD 512T	—
M シリーズ	HPC-SD 16M	HPC-SD 32M	HPC-SD 64M	HPC-SD 128M	HPC-SD 256M	HPC-SD 512M / HPC-SD 512M2	HPC-SD 1GM

SD メモリーカード＜携帯電話用＞

（2004 年 11 月現在）

	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
T シリーズ	—	HNT-SD 32TK	HNT-SD 64TK	HNT-SD 128TK	HNT-SD 256TK	HNT-SD 512TK
M シリーズ	HNT-SD 16MK	HNT-SD 32MK	HNT-SD 64MK	HNT-SD 128MK	HNT-SD 256MK	HNT-SD 512MK

miniSD メモリーカード（→専用のアダプタが必要です。）

（2004 年 11 月現在）

	32MB	64MB	128MB
M シリーズ	HNT-MN 32M	HNT-MN 64M	HNT-MN 128M

ハギワラシスコム社製 SD メモリーカード・ miniSD メモリーカードに関するお問い合わせはこちらまでお願いします。

株式会社ハギワラシスコム
サポートセンター
フリーダイヤル：0120-307-456
受付時間：午前 10 時～ 12 時／午後 1 時～ 5 時（月～金曜日）
（土曜・日曜および祝祭日、弊社休日はお休みさせていただきます。）
E-mail　：support@hscjpn.co.jp
FAX　　：052-223-1328
（E-mail ・ FAX での受付は 24 時間行っております。）
ホームページ：http://www.hscjpn.co.jp/

●本商品は SD メモリーカードのハイスピードモードには対応しておりません。
ハイスピードモード対応の SD メモリーカードをご使用の場合は、通常の SD メモリーカードと同等のデータ転送速度でのご利用となります。

8 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

●無線 LAN 端末（子機）としてご利用の場合の無線 LAN 接続に関する問題

症　状	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	● Aterm シリーズの無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面にある「無線 LAN 設定ラベル」に記載されています。 ただし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に「無線 LAN 設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。 ● サテライトマネージャでも確認することができます。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線 LAN アクセスポイント（親機）を識別できます。
暗号化のキーを忘れてしまった	● 無線 LAN アクセスポイント（親機）側の設定を確認してください。確認のしかたは無線 LAN アクセスポイント（親機）側の取扱説明書等を参照してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか、確認してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに無線 LAN カードが入っているか、しっかり奥まで挿入されているか、確認してください。また、無線 LAN カードのランプが同時に点滅しているか、確認してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ● 無線 LAN カード（子機）のランプのつき方を確認してください。消灯している場合は、無線 LAN カード（子機）が無線 LAN アクセスポイント（親機）を正しく認識していません。無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。 ●無線 LAN 端末（子機）に WL54AG-SD（無線 LAN カード）を使用している場合は、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］で、チェックの入っている接続先を選び直してみてください。

症　状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	●ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。 Aterm シリーズの無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値は、クイック設定 Web の［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］内の「アクセスポイント設定」で確認できます。 ※Aterm シリーズの無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面にある「無線 LAN 設定ラベル」に記載されています。 ただし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に「無線 LAN 設定ラベル」がない場合の工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。 ●暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。 暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。 ●通信モードがあっているか、確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」（アクセスポイント通信）で使用します。 ※サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。
「アドホック通信」（パソコン間通信）で通信できない	●通信モードを「アドホック通信」（パソコン間通信）でご使用の場合は、［チャネル番号］が一致しているか、確認してください。 ●WL54AG-SD で「アドホック通信」（パソコン間通信）を行う場合は、［無線動作モード］の「802.11a/802.11b」を選択してください。 ※サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、［設定］をクリックして、［チャネル番号］・［無線動作モード］を確認します。

症　状	原因と対策
Windows® XPの［ワイヤレスネットワーク］の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●無線LAN端末（子機）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 いったんドライバを削除してから、次の手順でもう一度ドライバをインストールしてください。 ①[スタート]－[すべてのプログラム]－[Aterm WARPSTAR ユーティリティ]－[ドライバのアンインストール]をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54AG-SD（無線カード）を接続する
無線状態が良好なのに、通信できない	●固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：無線LANアクセスポイント（親機）が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.X ●暗号化を有効にしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。 暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。
無線状態が良好なのに、速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）が近すぎる場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）を1m以上離してください。 また、サテライトマネージャの設定画面で「送信出力」を下げてみてください。ただし、その場合は、遠くにある無線LAN端末（子機）から接続しにくくなります。
AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。 ●AVサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。 ●無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となるところに移動させてください。

●サテライトマネージャに関するトラブル

症　状	原因と対策
Windows® XP/2000 Professionalで、サテライトマネージャがインストールできない	●Administrator権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化を有効にしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と暗号化キー、暗号化強度が一致しているか確認してください。 ●Windows® XPをご利用の場合は、［Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする］設定になっていることを確認してください。
「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）が見つからない	●電波状態により、「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。 このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力して検索し直してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）側で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を使用する設定にしている場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力するか、無線LANアクセスポイント（親機）側の「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を使用しない設定に変更して「ネットワークの参照」で検索してください。 ●無線LAN端末（子機）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボードの機能を停止させないと、無線LAN端末（子機）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードおよびLANボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。
[サテライトマネージャ]アイコンが使える状態（青表示）にならない通信状態が「範囲外」となる	●無線LANアクセスポイント（親機）との接続ができていません。 「無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない」（☛P61）を確認してください。

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない	●WL54AG-SD（無線LANカード）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①[スタート]−[すべてのプログラム]−[Aterm WARPSTARユーティリティ]−[ドライバのアンインストール]をクリックする ②画面の指示に従って、アンインストールを行う ③WL54AG-SD（無線LANカード）を接続する ●上記の手順でも正しくインストールされていない場合は、次の手順で再インストールしてください。 **＜Windows® XPの場合＞** ①無線LAN端末（子機）に添付のCD-ROM（WARPSTARユーティリティ）をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、×または［閉じる］をクリックする ②「Aterm WARPSTARユーティリティ」画面で［キャンセル］をクリックする ③［スタート］−［コントロールパネル］をクリックする ④［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする ⑤［システム］アイコンをクリックする ⑥［ハードウェア］タブをクリックする ⑦［デバイスマネージャ］をクリックする ⑧［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑨［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑩［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする ⑪次の手順で再インストールを行う a.「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックする b.「次の場所で最適のドライバを検索する」と「次の場所を含める」にチェックし、［参照］をクリックする c. CD-ROMドライブから「Drv」−「WinXP」を選択し、［OK］をクリックする d.［次へ］をクリックする e.［続行］をクリックする f. インストールが完了したら、［完了］をクリックする ⑫CD-ROMを取り出す ⑬WL54AG-SDのドライバのインストールを確認する a.［スタート］−［マイコンピュータ］−［システム情報を表示する］をクリックする b.［ハードウェア］タブをクリックする c.［デバイスマネージャ］をクリックする d.［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする e.［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない （つづき）	＜ Windows® 2000 Professional の場合＞ ①無線 LAN 端末（子機）に添付の CD-ROM（WARPSTAR ユーティリティ）をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、☒ または［閉じる］をクリックする ②「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面で［キャンセル］をクリックする ③［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ④［システム］アイコンをダブルクリックする ⑤［ハードウェア］タブをクリックする ⑥［デバイスマネージャ］をクリックする ⑦［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑧［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑨［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする ⑩次の手順で再インストールを行う a.［次へ］をクリックする b.［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］をクリックし、［次へ］をクリックする c.［場所を指定］をチェックし、［次へ］をクリックする d.［参照］をクリックする e. CD-ROM 内の「Drv」－「Win2000」フォルダを選択し、［開く］をクリックする f.［OK］をクリックする g.［次へ］をクリックする h.「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたときは［はい］をクリックする i. インストールが完了したら［完了］をクリックする ⑪CD-ROM を取り出す ⑫WL54AG-SD のドライバのインストールを確認する a.［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする b.［システム］アイコンをダブルクリックする c.［ハードウェア］タブをクリックする d.［デバイスマネージャ］をクリックする e.［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする f.［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない（つづき）	＜Windows® Me の場合＞ ①無線 LAN 端末（子機）に添付の CD-ROM（WARPSTAR ユーティリティ）をパソコンにセットする しばらくすると画面が表示されるので、☒ または［閉じる］をクリックする ②「Aterm WARPSTAR ユーティリティ」画面で［キャンセル］をクリックする ③［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ④［システム］アイコンをダブルクリックする ⑤［デバイスマネージャ］タブをクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする ⑨次の手順で再インストールを行う a.［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］をクリックし、［次へ］をクリックする b.「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」と「検索場所の指定」にチェックし、［参照］をクリックする c. CD-ROM 内の「Drv」－「WinMe」フォルダを選択し、［OK］をクリックする d.［次へ］をクリックする e.［次へ］をクリックする f. インストールが完了したら［完了］をクリックし、画面の指示に従ってパソコンを再起動させる ⑩CD-ROM を取り出す ⑪WL54AG-SD のドライバのインストールを確認する a.［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする b.［システム］アイコンをダブルクリックする c.［デバイスマネージャ］をクリックする d.［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする e.［NEC AtermWL54AG（PA-WL/54AG）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する

9 製品仕様

WL54AG-SD 仕様

■ 仕様一覧

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">諸　元</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td colspan="2">端末インタフェース</td><td colspan="3">Card Bus</td></tr>
<tr><td rowspan="10">無線 LAN
インタフェース</td><td rowspan="3">IEEE802.11a</td><td>周波数帯域/
チャンネル</td><td colspan="2">5.2GHz 帯（5150-5250MHz）
/34.38.42.46ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">OFDM（直交周波数分割多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度（※ 1）</td><td colspan="2">54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11g</td><td>周波数帯域/
チャンネル</td><td colspan="2">2.4GHz 帯（2400-2484MHz）
/1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">OFDM（直交周波数分割多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度（※ 1）</td><td colspan="2">54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11b</td><td>周波数帯域/
チャンネル</td><td colspan="2">2.4GHz 帯（2400-2497MHz）
/1 ～ 14ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度（※ 1）</td><td colspan="2">11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="3">ESS-ID、WEP（152/128/64bit）、TKIP、AES</td></tr>
<tr><td colspan="2">切替スライドスイッチ</td><td colspan="3">WLAN：無線 LAN 機能利用時
SD　　：SD アダプタ機能利用時</td></tr>
<tr><td rowspan="4">SD アダプタ
機能</td><td>SD カードスロット</td><td colspan="3">SD カード※装着用　※SD メモリーカード・マルチメディア
カード・SII 製 PHS データ通信カード</td></tr>
<tr><td rowspan="3">利用可能な
カード</td><td colspan="3">SD メモリーカード　　：容量 8/16/32/64/128/
256/512MB/1GB</td></tr>
<tr><td colspan="3">マルチメディアカード　：容量 8/16/32/64MB</td></tr>
<tr><td colspan="3">SII 製 PHS データ通信カード（AH-S101S）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒューマンインタフェース</td><td colspan="3">状態表示 LED × 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">利用可能端末</td><td colspan="3">PC-AT 互換機</td></tr>
<tr><td colspan="2">利用可能 OS</td><td colspan="3">Windows® XP 日本語版（※ 2）
Windows® Me 日本語版
Windows® 2000 Professional 日本語版</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td colspan="2">DC3.3V × 710mA</td><td>パソコンから給電</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td colspan="3">約 2.4W（最大）</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（mm）（W × H × D）</td><td colspan="3">約 54 ×9.5 × 117</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td colspan="3">約 0.05kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">動作環境</td><td colspan="2">温度 0 ～ 40℃　湿度 10 ～ 90％</td><td>結露しないこと</td></tr>
</table>

※ 1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。
※ 2 Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モードが暗号化無効または WEP（64bit、128bit）の場合にご利用になれます。

END USER LICENSE AGREEMENT

1. **License Grant and Limitations.** The End User License Agreement shall state that:
   Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. **Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.** In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. **Third Party Beneficiary.** The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:
   Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. **U.S. Government Use.** All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. **Export Restrictions.** The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載·無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り·記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリテ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

● 廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

お願い

●パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
●ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

本書は、古紙配合率 100 %の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WL54AG-SD ご使用になる前に　第３版

AM1-000012-003
2004 年 11 月